資料－5③

福島県の現状と課題
みらいへの取組について

○みらいへの取組

- 福島イノベーション・コースト構想関連施設・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 風評払拭・風化防止対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 国土強靱化の取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

令和５年５月２８日
福島県土木部

福島イノベーション・コースト構想の取組

○東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業基盤の再構築を目指す国家プロジェクト。
○廃炉やロボット分野など、６つの重点分野での産業集積、交流人口の拡大等に取り組む。

重点分野
- 1.廃炉
- 2.ロボット・ドローン
- 3.エネルギー・環境・リサイクル
- 4.農林水産業
- 5.医療関連
- 6.航空宇宙

エネルギー・環境・リサイクル

福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）
［令和2年3月7日開所・浪江町］

ロボット・ドローン

福島ロボットテストフィールド
［令和2年3月31日全面開所・南相馬市］

福島国際研究教育機構（F-REI）
［令和5年4月1日開所・浪江町］

風評払拭・風化防止対策

震災伝承

◆令和３年10月に浪江町立請戸小学校が福島県初の震災遺構として一般公開。

◆福島の複合災害の記録と教訓を後世に伝える原子力災害伝承館は、令和５年３月末に来館者が１８万人を超える。

県産品のトップセールス

海外（アメリカ）でのPR（R5.1）

◆諸外国による県産食品の輸入規制がいまだ継続されるなど、風評が根強く残る状況にあるとともに、年々進む風化への対応も不可欠。

◆正確な情報や県産品等の魅力を国内外へ発信し、県産品等の流通促進や販路開拓につなげる。

ホープツーリズム・インフラツーリズム

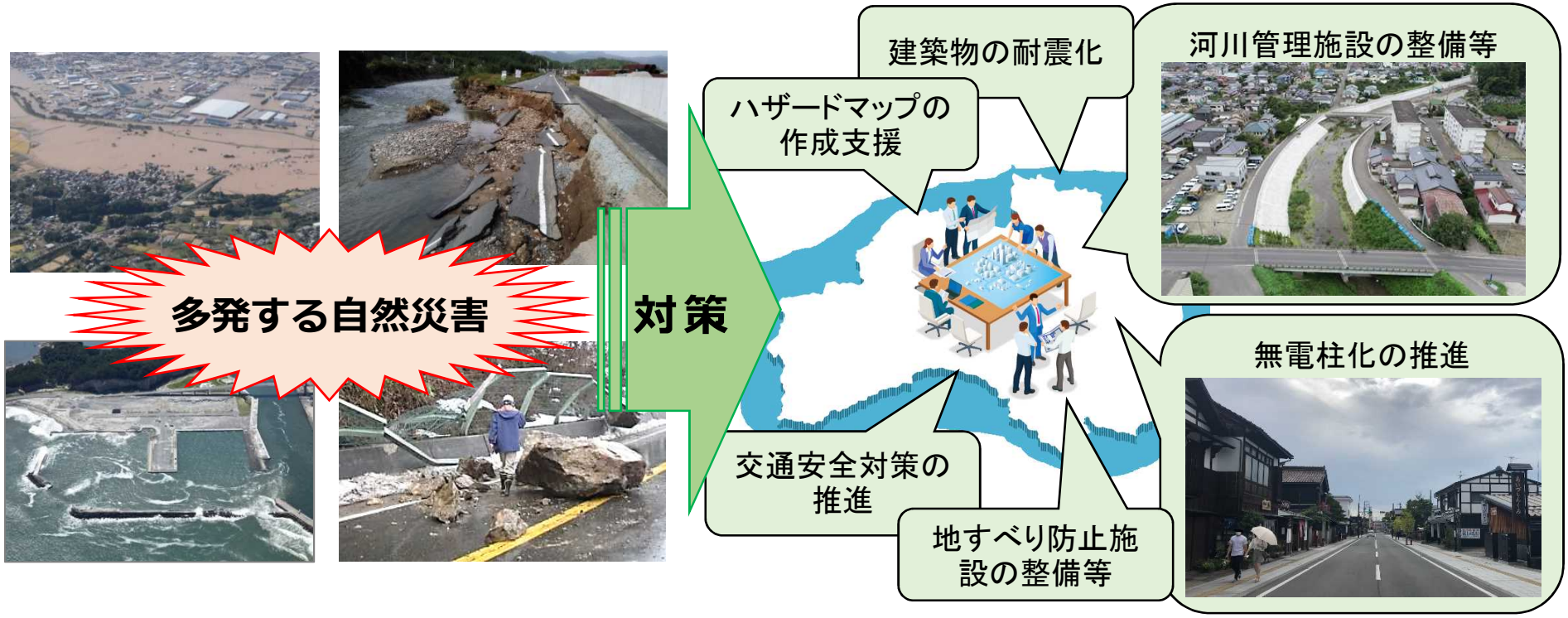
震災遺構浪江町立請戸小学校

県営あづま球場　バックヤードツアー

旧祓川橋（石造アーチ橋）

国土強靭化の取組

防災・減災対策



◆東日本大震災から得た教訓を踏まえ、いかなる大規模自然災害等が発生しようとも、**「致命的な被害を負わない強さ」**と**「速やかに復旧・復興できるしなやかさ」**を備えた**強靭な県土・地域社会を構築**し、**安全で安心な県づくり**を推進

福島県国土強靭化地域計画

◆平成３０年度に**「福島県国土強靭化地域計画」**を策定
◆**令和元年東日本台風等の検証等を踏まえ**、本県の防災・減災、国土強靭化のさらなる加速化・深化を図るため、**令和２年度に本計画の全体を見直し。**
◆**近年の度重なる自然災害を踏まえ、**指標等を改めて見直しを図り、**令和４年度に本計画を一部改訂**